

可愛山稜の木々も陽春の光を浴び、(春爛漫の)若々しい自然の息吹あふれる今日の佳き日に、鹿児島県議会議員田中良二様、薩摩川内市議会議長瀬尾和敬様、可愛山同窓会長山田島稔様、また、PTA会長南輝男様をはじめ、各中学校の校長先生など多数の御来賓・保護者の皆様の御臨席を賜り、ここに、鹿児島県立川内高等学校第69回入学式を挙行できますことは、この上ない慶びであり、深く感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可され、本校生となった280名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校の教職員並びに在校生一同、心から歓迎いたします。

さて、本校は、明治30年に開校した旧制川内中学校と、大正2年の川内高等女学校を前身とし、昭和23年の学制改革で、川内高等学校となり、現在に至っております。今年で創立117年目を迎え、県下の普通科高校としては、2番目に古い歴史をもっている高等学校です。明治30年から、・・・19世紀、20世紀、21世紀と、3世紀にわたって、有為な人材を、地元はもとより全国、全世界に輩出して、その約4万人もの卒業生は、各界・各層で活躍しておられます。このように、歴史と伝統を有し、「北薩の雄」として品位と風格ある本校に入学された皆さん、大きな夢を抱き、充実した学校生活を送るとともに、新たな川内高校の歴史を築いていくことを願っています。

本校には、どんなことでも本気でがんばることが肯定される校風があり、その中で、進学及び部活動ともにすばらしい成果をあげております。これも、生徒諸君の努力はもちろんのこと、県内でも特に優秀な本校職員の献身的な指導と、保護者や地域の皆様方の御支援の賜と思います。新入生の皆さんも、高いレベルでの「文武両道」をモットーとして、教科の学習はもとより、部活動、学校行事などに積極的に参加し、頑張る川内高校生であって欲しいと思います。

そこで、新入生の皆さんに、本校での高校生活を大切にするために、次の2つのことをお話ししたいと思います。

まず、一つ目は「**志を高く持ち、学ぶ力を伸ばす**」ということです。

将来の夢を実現するためには、志を高く持ち、未来の大きな夢を描き、まず目の前にある目標に向かって挑戦することが大切であります。皆さんは青春時代のまっただ中、何事にも代えられない無限のポテンシャル・可能性を秘めています。「**これからの気持ちの持ちよう・やる気**」で自分の将来は、変わってきます。学校を信じ、先生方を信じ、志を高く持ち、主体的に意欲を持って学習に努めてください。

二つ目は、「**規律ある正しい生活習慣のもとで、「人間力を伸ばす**」ということ。学校は集団社会であり、本校における規律ある学校生活を通じて、「自律」的に行動できる人間になるよう願っております。

プロ野球の田中将大投手は、今春、アメリカ大リーグの名門チーム「ニューヨークヤンキース」に移籍し、つい先日、メジャーデビュー戦で初登板し、初勝利しました。2回まで3点を失いながらも立ち直った粘りの投球を、各メディアは「簡単には屈しないタナカ」と見出しをつけてこぞって賞賛しました。

これからの高校生活の中では、通学方法や勉強のやり方も義務教育の中学校時代とは随分異なり、つらいことも多いと思います。しかし、逃げずに、田中投手のように忍耐強く正面から取り組んで欲しいと思います。つらいと感じることは、自分が成長している証でもあります。文武両道の精神のもと、部活動、学校行事、地域貢献などに積極的にチャレンジし、粘り強さや人間性などを養い、「規律ある正しい生活習慣のもとで人間力」を伸ばして欲しいと思います。

最後に、今日の入学式に際し、尊敬する一人であります「京セラやKDDI（AU）の創業者・稲盛和夫氏の話」に少し触れたいと思います。

京セラという会社は、地元川内にも大きな工場がありますが、京セラグループとしては社員71,000人余りを抱え、今や日本では、トヨタやホンダなどと同じような大企業に成長していますが、その創業者が、稲盛和夫さんという鹿児島県の御出身の方であります。高校入試に失敗し、一年浪人してどうにか鹿児島玉龍高校に入学されました。高校生の時の口癖は、「俺は頭が悪いんだから、人の二倍は努力する。人が2倍勉強したところは5倍勉強する。」だったそうです。そして27歳の時、京都で、京都セラミック、後の「京セラ」という会社を、8人で興しました。その時の目標は、「まず京都一をめざそう、京都一が実現したら、日本一になろう。日本一になったら、世界一を目指そう」と、やる以上は大きな目標を持つと、稀有壮大な夢を追っていた稲盛和夫氏にはある信念がありました。その信念というのは、「**才能に乏しくても、熱意と努力で人に伍して（ついて）いける。それ以上に心の様相だ。人生は心に描いたとおりになる。**」という信念です。かつて、「**世に生を得るは、事を成すにあり**」という言葉を残された偉人がおられました。本校には、思い切り勉学と部活動に打ち込める最適な環境があります。将来のビジョンを描きながら、志を高くもって、自信をもって新たなスタートを切って欲しい。

本日、ここに御列席の保護者の皆様、ご子弟の本校への入学、心からお祝いを申し上げます。本日よりご子弟をお預かりすることになりますが、学校の教育方針に則り、生徒一人一人の幸せのために、教職員一同、心を一つにして、この川内高等学校で教育することに誇りと信念を持ち、教育に専念する所存でございます。

高校は中学校と比べ、生活のリズムも学習の状況も大きく変わります。保護者の皆様方におかれましては、学校との連携を密にさせていただきますとともに、学校の教育方針に深くご理解を賜り、学校が意欲的にご子弟の教育に邁進できますように、御支援・ご協力をお願いいたします。

新入生の皆さん、「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰かるんずべからず」。高校生活3年間は長いようで短いものです。本日の入学式の感動を忘れることなく、川内高等学校の生徒であるという誇りと自覚を持って、豊かな高校生活を創造されるよう期待して、式辞といたします。

平成26年4月8日

鹿児島県立川内高等学校長 田島 洋輝